

# 農薬使用時安全性検討会議事要旨

日 時 : 平成15年7月7日(月) 14:00~17:00  
場 所 : 独立行政法人農薬検査所 会議室  
出 席 : 赤堀、田中、戸部(座長)、降矢、三瀬各委員(五十音順)

(事務局): 独立行政法人農薬検査所

今回の農薬使用時安全性検討会は、ドレクスレラ・モノセラス、タラロマイセス・フラバス、スピロジクロフェン、ポリオキシエチレンメチルポリシロキサン、マンネブ、過酸化カルシウム、カズサホス、トルフェンピラド、メタミトロンを議題として開催された。その要旨は次のとおり。

## 議題1 ドレクスレラ・モノセラスについて

- (1) 事務局より、本薬については、当検討会で初めて審議を依頼するものであること及び毒性試験成績等提出された資料の概要が説明された。
- (2) 提出された資料を検討した結果、感作性について更なる確認を要すると指摘された。また、**別紙1**の使用上の注意事項を定めることが適切とされた。

## 議題2 タラロマイセス・フラバスについて

- (1) 事務局より、本薬については、当検討会で初めて審議を依頼するものであること及び毒性試験成績等提出された資料の概要が説明された。
- (2) 提出された資料を検討した結果、単回経気道投与試験で認められた死亡例について考察を要すると指摘された。また、**別紙2**の使用上の注意事項を定めることが適切とされた。

## 議題3 スピロジクロフェンについて

- (1) 事務局より、本薬については、当検討会で初めて審議を依頼するものであること及び毒性試験成績等提出された資料の概要が説明された。
- (2) 提出された資料を検討した結果、急性吸入毒性試験の妥当性について考察を要すると指摘された。また、**別紙3**の使用上の注意事項を定めることが適切とされた。

## 議題4 ポリオキシエチレンメチルポリシロキサンについて

- (1) 事務局より、本薬については、当検討会で初めて審議を依頼するものであること及び毒性試験成績等提出された資料の概要が説明された。
- (2) 提出された資料を検討した結果、**別紙4**の使用上の注意事項を定めることが適切とされた。

## 議題5 マンネブについて

- (1) 事務局より、本薬については、当検討会で初めて審議を依頼するものであること及び毒性試験成績等提出された資料の概要が説明された。
- (2) 提出された資料を検討した結果、**別紙5**の使用上の注意事項を定めることが適切とされた。

議題6 過酸化カルシウムについて

- (1) 事務局より、本薬については、前回、平成13年10月29日に審議されており、前回指摘された毒性試験等について資料提出があった旨説明された。
- (2) 今回提出された資料を検討した結果、使用上の注意事項については別紙6のとおり、前回と同じとすることが適切とされた。

議題7 カズサホスについて

- (1) 事務局より、本薬については、前回、平成14年3月11日に審議されており、前回指摘された毒性試験等について資料提出があった旨説明された。
- (2) 今回提出された資料を検討した結果、使用上の注意事項については別紙7のとおり、前回と同じとすることが適切とされた。

議題8 トルフェンピラドについて

- (1) 事務局より、本薬については、前回、平成14年3月11日に審議されており、前回指摘された毒性試験等について資料提出があった旨説明された。
- (2) 今回提出された資料を検討した結果、使用上の注意事項については別紙8のとおり、前回と同じとすることが適切とされた。

議題9 メタミトロンについて

- (1) 事務局より、本薬については、前回、平成14年11月11日に審議されており、前回指摘された毒性試験等について資料提出があった旨説明された。
- (2) 今回提出された資料を検討した結果、使用上の注意事項については別紙9のとおり、前回と同じとすることが適切とされた。

その他

- (1) 農薬の使用時安全性に関する評価の指針の一部改正について  
事務局より、農薬の使用時安全性に関する評価の指針の一部改正について提案され、了承された。
- (2) 次回日程について  
次回の農薬使用時安全性検討会は、平成15年11月13日農薬検査所会議室にて開催することとされた。

(照会先) 検査部毒性検査課 正垣、鶴澤  
電話 042(383)2151

## ドレクスレラ・モノセラス

### (総合評価) 使用上の注意事項

#### ドレクスレラ・モノセラス剤

- (1) 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。  
眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- (2) 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。  
付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- (3) 散布の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用すること。  
作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換すること。
- (4) 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- (5) かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触を避けること。
- (6) 夏期高温時の使用を避けること。

## タラロマイセス・フラバス

### (総合評価) 使用上の注意事項

#### タラロマイセス・フラバス水和剤

- (1) 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。  
眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- (2) 散布の際は農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用すること。  
作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換すること。
- (3) 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- (4) かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触を避けること。
- (5) 夏期高温時の使用を避けること。

## スピロジクロフェン

(総合評価) 使用上の注意事項

### スピロジクロフェン 38% 顆粒水和剤

- (1) 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意すること。  
眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- (2) 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。  
作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼すること。
- (3) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。

### スピロジクロフェン 30% 水和剤(フロアブル)

- (1) 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。  
作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをすること。
- (2) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。

## ポリオキシエチレンメチルポリシロキサン

(総合評価)使用上の注意事項

ポリオキシエチレンメチルポリシロキサン 9.3%液剤

原液は眼に対して刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意すること。  
眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。

## マンネブ

### (総合評価) 使用上の注意事項

#### マンネブ 7.5%水和剤

- (1) 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。  
眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- (2) 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。  
付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- (3) 散布の際は農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用すること。  
作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換すること。
- (4) 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- (5) かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触を避けること。
- (6) 夏期高温時の使用を避けること。

## 過酸化カルシウム

(総合評価) 使用上の注意事項

過酸化カルシウム 16%粉粒剤

- (1) 本剤は眼に対して強い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。  
眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けること。
- (2) 使用の際は保護眼鏡、不浸透性手袋などを着用すること。  
使用後は洗眼すること。



## カズサホス

(総合評価)使用上の注意事項

カズサホス 3 % マイクロカプセル剤

- ( 1 ) 有機リン剤の解毒剤としては、硫酸アトロピン製剤及び P A M 製剤がある。
- ( 2 ) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。

## トルフェンピラド

(総合評価) 使用上の注意事項

### トルフェンピラド 15%乳剤

- (1) 医薬用外劇物。取扱いには十分注意すること。  
誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせること。  
本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けること。
  - (2) 原液は眼に対して刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意すること。  
眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
  - (3) 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。  
付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
  - (4) 散布液調製時及び散布の際は防護マスク、不浸透性手袋、ゴム長靴、不浸透性防除衣などを着用すること。  
作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをする。
- (13項：鍵のかかる場所に保管すること。)

## メタミトロン

(総合評価) 使用上の注意事項

メタミトロン 70% 顆粒水和剤
誤飲、誤食などのないよう注意すること。